

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 20-006

PDCA	事務事業名	市立保育園管理運営事業	部課等名	健康子ども部 幼児保育課 保育担当	担当	山田	
					内線等	417	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 2. 幼児教育・保育					
		単位施策： (1) 幼児教育・保育の充実					
	根拠法令等	児童福祉法第24条					
対象・目的	保護者が仕事や病気などで家庭での十分な保育ができない場合に、保護者に代わって保育を行う。また、通園する児童が心身ともに健やかに育ち、豊かな人間性を持った子どもを育成する役割を担う。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の適正配置 ・児童の健全な発育に必要な栄養量を含有する給食の提供 ・児童の健康管理のため健康診断の実施 ・予算範囲内において、施設の維持修繕 ・環境整備のため、備品購入・修繕等の実施 						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①市立保育園延べ児童数		23,696	24,093	24,452	人
		②					
		③					
		事業費		282,594	303,658	351,944	千円
		人件費		1,791,667	1,757,078	1,749,726	千円
		総事業費		2,074,261	2,060,736	2,101,670	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
		①児童一人あたりの保育費用		87,536	85,533	85,951	円
	②						
	③						
	成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①4月1日現在の待機児童数	実績値	0	0	0	人
			目標値	0	0	0	
		②10月1日現在の待機児童数	実績値	17	3	9	人
目標値			0	0	0		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある				
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">C</p> <p>保育が必要な就学前児童に対し、施設の維持・管理等の環境整備に努め、円滑に保育・教育を実施することともに、令和元年度から白山保育園において発達支援通級クラスひまわり組を開所し、保育サービスの拡充を図ることができた。しかし、待機児童については、年度途中において発生する傾向にあるため、令和元年度から新たな小規模保育事業所の開設などにより、低年齢児の定員を36人分拡大したが、それを上回る保育ニーズがあり、待機児童の解消には至らなかった。公民連携更新計画の中で、民間保育所と連携し、解消に努めていく必要がある。</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> <p>市立保育園施設の維持管理及び保育の質の向上に努めるとともに、半田市子ども・子育て支援事業計画を基に保育サービスの改善に努める。また、令和元年度に策定したこども園化や民営化、施設更新を併せた「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、民間保育所や小規模保育事業所を含めた半田市の低年齢児の受け入れ拡大等の保育サービスの拡充に取り組み、待機児童の解消に努めていく。</p>					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①4月1日現在の待機児童数		0	人		
②10月1日現在の待機児童数		0	人				